

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2019. 5. 10◆◆◆

\*\*\*\*\*

【 四国地方整備局 建政部長 稲村 行彦 】

建政部長の稲村です。四国に赴任して3年目、いよいよ新しい元号の「令和」がスタートしました。心機一転今後とも、よろしく願いいたします。

まちづくり、住まいづくり等を担当する建政部として、今回は、コンパクト・プラス・ネットワーク等について、コメントさせていただきます。

四国は人口減少・高齢者の増加が全国的に先行しておりますが、依然として、車社会による市街地の拡散といった問題があります。

これに対して、コンパクトシティの形成を図り、人口を集積するもので、具体的には、中心拠点や生活拠点を整備し、これらの拠点を利便性の高い公共交通ネットワーク等で結ぶといった考え方が、コンパクト・プラス・ネットワークです。国土交通省の重点的施策の一つで、必ずしも一極集中を目指すものではなく、多極ネットワーク型のコンパクトシティを実現していくもので、まちなか居住や高齢者も歩いて暮らせる利便性の高いまちづくりを行います。

これらを具体的に実現するツールが、立地適正化計画です。まず、市街化区域内に医療・福祉・商業等を誘導する都市機能誘導区域を設定し、次に、その周りを居住誘導区域として設定していきますが、立地適正化計画に基づくまちづくり等に対しては、ハード・ソフト面での様々な財政・金融上の支援措置がございます。

四国における立地適正化計画の作成状況ですが、平成31年4月1日現在で25都市で、計画に取り組んでおり、その数も年々増加してきております。特に、29年度策定の高松市・丸亀市・西条市・高知市や、30年度策定の松山市、新居浜市などの計16都市で、既に都市機能と居住誘導の区域を設定し計画策定済みとなっております。

具体例として、高松市の立地適正化計画は、昨年3月に策定済みですが、人口42万人で、市街地の拡大が継続する中で、民鉄やバスなどの公共交通の利用は今も増加しており、この強みを生かし、丸亀町商店街の再開発をはじめとした中心市街地等の活性化と、より充実する公共交通と連携したまちづくりを目指しており、高松市の取組は、昨年6月に、コンパクト・プラス・ネットワークの全国21あるモデル都市の一つとして、四国で初めて選定されました。

なお、現在、本省の社会資本整備審議会都市計画基本問題小委員会で、立地適正化計画制度の拡充等が議論されており、災害発生の高危険の区域（ハザードエリア）の居住者の移転促進などの検討も行われており、災害に強いまちづくり、事前復興の検討を行っている四国にとっても、注目していきたいと考えております。

今後とも、魅力ある四国の地域づくりのために全力を尽くしてまいりますので、何かご不明な点等がございましたら、いつでも建政部までお尋ねください。

\*\*\*\*\*

## 目次

- 2019年度「水防月間」の実施について
- 事務所だより 高知河川国道事務所

\*\*\*\*\*

## 2019年度「水防月間」の実施について

### 【 河川部 水災害予報センター 】

水防月間とは、昭和61年の台風10号による出水の際における懸命な水防活動を契機として、水防活動が極めて重要であることが再認識されたため、昭和62年度から毎年出水期前の5月（北海道は6月）を水防月間とし、水害から国民の生命と財産を守るため、出水期を前にした水防体制の強化を図るとともに水防の重要性を国民に周知すること等を目的として各種の行事を実施しているものです。

#### 2019年度「水防月間」の取り組み

1. 洪水対応演習【平成31年4月23日(火)8:45～17:00】  
※ダムにおいては平成31年4月22日(月)13:00～23日(火)17:00  
本年も梅雨、台風等による出水期が近づいていますが、出水時等の洪水予報・水防警報、ダム放流情報、海岸災害・土砂災害・地すべり災害情報等、防災情報の関係機関への迅速かつ適確な伝達、連絡を行い、防災体制の万全を期することを目的に総合的な洪水対応演習を実施しました。  
参加機関：国土交通省、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、(独)水資源機構、電源開発(株)、四国電力(株)、住友共同電力(株)、その他関係機関
2. 重信川総合水防演習【令和元年5月12日(日)9:00～12:00】  
2019重信川総合水防演習では、国土交通省、愛媛県、関係市町、消防団体等が、洪水による被害を防止するため、密接な連携のもとに「水防活動、情報の伝達、人命救助」を中心とした訓練を行います。また、地域住民・学校・企業等にも参加いただき、洪水・高潮等による災害から身を守る危機意識を高め、身近な問題として再認識してもらうこととしています。  
開催場所：松山自動車道重信川橋下流右岸河川敷（愛媛県松山市井門町地先）
3. 水防管理団体との連絡会及び重要水防箇所合同巡視  
洪水時に迅速かつ的確な水防活動の実施が図られるよう巡視を行い、重要水防箇所の周知徹底を図るとともに、水防に必要な情報交換等を行います。  
その他、以下のとおり実施することとしています。

- ・水防技術講習会
- ・樋門等操作員説明会
- ・ダム放流警報周知会
- ・河川管理施設の点検整備
- ・災害対策用機械の操作訓練

\*\*\*\*\*

## 高知河川国道事務所の情報発信の取り組み

### 【 高知河川国道事務所 】

高知河川国道事務所では、仁淀川支川日下川の再度の災害防止のため、日下川新規放水路の工事を実施しています。

今年に入ってからトンネル本坑の掘削に着手しており、その施工中の工事現場をご  
覧いただくなど、当現場を活かして地域の方々に当事業の内容や効果などを説明する  
とともに、治水事業の理解を深めていただくことなどにも取り組んでいます。

●地域へ積極的な情報発信をしています。

平成26年8月の台風第12号の影響で、日高村では159戸が浸水、国道33号が  
通行止め、JR土讃線が運行休止、村の主要産業である農業のハウスや完成前であった  
村の駅が浸水するなどの水害被害をもたらしました。

このことにより平成27年には床上浸水対策特別緊急事業が採択され、国土交通省・  
高知県・日高村の役割を明確にして連携した事業を推進しています。

これまで幾度の洪水に見まわれたため、地域住民の方々はもちろんのこと地域の各  
団体などからも高い関心を持たれています。

高知河川国道事務所では、頻繁に地域住民の方々への現場見学会を開催しており、  
今年2月には報道機関の皆様との意見交換会を実施しました。

●今しか見られない掘削中のトンネル内部の様子を紹介しています。

本事業の現場を、保育園児や大学生、留学生の皆様など多くの方々にご覧いただい  
ております。

保育園児を対象とした見学会では、普段近くで見ることの出来ない建設機械に乗る  
体験や、鋼管が打設される様子を見てもらい、大変好評でした。大学生や留学生から  
は活発な質問を多数受けるなど、関心の高さが窺えました。

\*\*\*\*\*

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

\*\*\*\*\*

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への  
周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありま  
したら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>

\*\*\*\*\*